

交通安全呼びかけ 街頭キャンペーン

9月29日、秋の交通安全街頭キャンペーンが高山地区と内之浦地区で実施されました。

高山地区では、高山ソフボールスポーツ少年団の24名と交通安全協会や肝付警察署等関係者らが参加。のぼりをもって県道沿いに立ち、ハヤブサキングとともに啓発用のチラシなどを配って、ドライバーへ交通安全を呼びかけました。



交通安全を呼びかける子どもら

実例もとに考える 避難所設営訓練

福島県立医科大学の末永カツ子教授、同大学医療人育成・支援センターの安井清孝さんを講師に一次避難所設営机上訓練が町体育館で10月10日に行われ、民生児童委員や消防団員ら約120名が参加しました。避難所で起きる問題への対処方法を考えるなど訓練に挑んだ森雅宏さんは「学んだことを役立ててサポートできれば」と話しました。



真剣に取り組む参加者

城之尾さんに 少年補導荣誉金章

少年補導員として36年間にわたり肝付地区の少年非行防止と健全育成に尽力した城之尾利章さんに、全国少年警察ボランティア協会金章（荣誉金章）が贈られました。

城之尾さんは波野小・中学校付近で児童へ声掛けをするなど、子どもたちを見守ってきました。9月28日には、祝賀会も開かれ、地域の人々から祝われました。



受章報告に訪れた城之尾さん

交通安全に貢献 柳井谷さんら4名表彰

肝付町交通安全協会の柳井谷和人さん、黒川和雄さん、戸口田満夫さん、梶俊郎さんが、全日本・九州交通安全協会から多年にわたって交通安全活動に貢献したとして表彰されました。9月26日、受章報告に訪れた4名を永野町長が「皆さんの活動が町の交通事故防止に大きく貢献しています。本当に感謝しています」とねぎらいました。



(左から)柳井谷さん、黒川さん、戸口田さん、梶さん